



らみまる通信

JAPAN COAST GUARD

海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリトレジャー安全推進室

NO. 3 号
平成 17 年 7 月 20 日

さあ、夏休み！されど水難、海難事故には気をつけて。

梅雨が明けて夏本番！マリトレジャーシーズンの到来です。

また子供たちが待ちに待った夏休みも始まり、レジャーに或いは涼を求めて海、山、川に出かけられることと思いますが、殊にこの時期における水難、海難事故が例年多発していますので注意をお願いします。

自然の中で思いっきり遊ばせたい、でもそこには守るべきルールがあることを忘れないでください。今回は子供たちが安全に夏休みを過ごせることを祈っての特集です。

事故の傾向について

統計資料から

18歳以下の子供に関する海での事故について、平成14年から16年までの3年間、当十管区内（熊本・宮崎・鹿児島県）の統計を調べたところ、この3年間に38名の子供たちが事故に遭い、うち9名が死亡または行方不明となっています。

重大事故の約8割が夏休み期間中に発生(全国統計では約9割)

7、8月の夏休み期間中に24名の子供たちの事故が発生し、7名が死亡・行方不明。

1. 遊泳中に最多、 2. 魚釣り、 3. 磯遊び

事故内容別では、遊泳中が21名と半数以上を占めています。次に魚釣り中に6名、磯遊び中に4名の子供たちが事故に遭っています。

男の子に注意

男女別でみると、女の子が4名であるのに対し、男の子は34名と、事故者のほとんどが男の子となっています。遊び盛りの男の子は要注意です。

私の町、私の母港

小宝島

おおすみ搭載機 きんこう撮影



今回は小宝島です。

周囲4km弱の小さな島。青く輝く海が魅力的な島です。小さな宝物(幸せ)そんなものも人生には必要ですよ。

2005.6 撮影

本コーナーは、鹿児島航空基地等の航空機がパトロール中に撮影した航空写真を毎回紹介するコーナーです。

特集 子供たちを守る

もしも、おぼれている人を見つけたら

- 泳がないで救助することができれば、それが最善の手段です。
- 周りに人が居るときは協力を求めて、一人での救助は予想以上に困難です。
- ロープや棒などを使って救助しよう。(着ているシャツやベルトを使うこともできる。)



- ペットボトルやクーラーボックスなどの浮く物につかまらせよう。
(レジ袋に空気を入れても浮くよ。)



- リング・ブイがあれば一番いいけど、ロープにペットボトルを付けて投げる方法もあるよ。



- 人が大勢いたら人でロープ(ヒューマン・チェーン)をつくらう。



小中学生のマリンレジャー事故は、夏休みに集中！

～ルールを守って、楽しいマリンレジャー～

どんなことに注意すればいいの



子供たちへのお願い

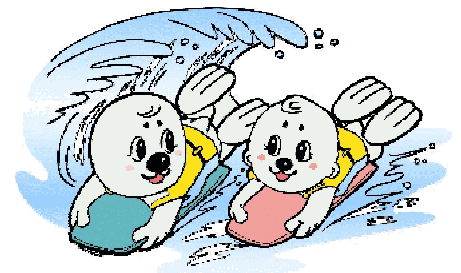
くいごもたち



- つりやうみにいくときは、おとなのひとといっしょにいこう
- つかれているときや、ねぶそく、ぐあいのわるいときは、およがない
- けいれんなどをおこさないように、じゅんびうんどうはしっかりと
- かぜがつよい、なみがたかいときなど、うみがあれているときは、およがない
- ふかいところやうみのながれにちゅういし、あぶないばしょではおよがない
- つりやボートにのるときは、ライフジャケットをつけよう
- こどもだけでボートにのらないこと
- おぼれているひとをみつけたら、てをおおきくふり、おおきなこえでひとをよぼう
- もしも、ともだちがうみにおちたら、ロープやぼうなどをわたしたり、ペットボトルやクーラーボックスなどのうくものをなげて、たすけをよぼう

保護者の方へのお願い

- 子供たちだけで、釣りや海水浴に行かせないで
- 子供たちに危険な場所に近づかないように教えて
- 子供たちが海に入ったら目を離さないで
(子供が親を探しているうちに流された事例もあります)
- 潮流(離岸流)や気象・海象にも気を付けて
(離岸流については、「海流速報」に記載しました)
- 万一に備えて、心肺蘇生法や救助法の講習会を受講して
- おぼれる方の多くは飲酒後の遊泳が多いので、お父さんは飲んだら泳がないで



参 考

< 海の危険生物 >

貝、クラゲ、海ヘビの仲間には、猛毒を持つ種もあり最悪の場合は心停止に至りますので不用意に触らないようにしましょう。クラゲに刺された場合は、患部に海水(酔は逆効果の場合があるので注意)を流しながら手や割り箸を使って触手を取り除きます。こすると触手が散らばり患部を拡大することになるので厳禁です。その後、患部を冷やすとともにひどい場合は病院へ。また、サメは別として、魚のなかにも危険なものや毒を持つものが居ますので同様に注意が必要です。

その他、磯遊びをする際はマリンブーツや靴を履くようにしましょう。ウニ等のトゲは、折れやすく抜けにくいいため、足に刺されると痛みが長引き化膿することもあります。

